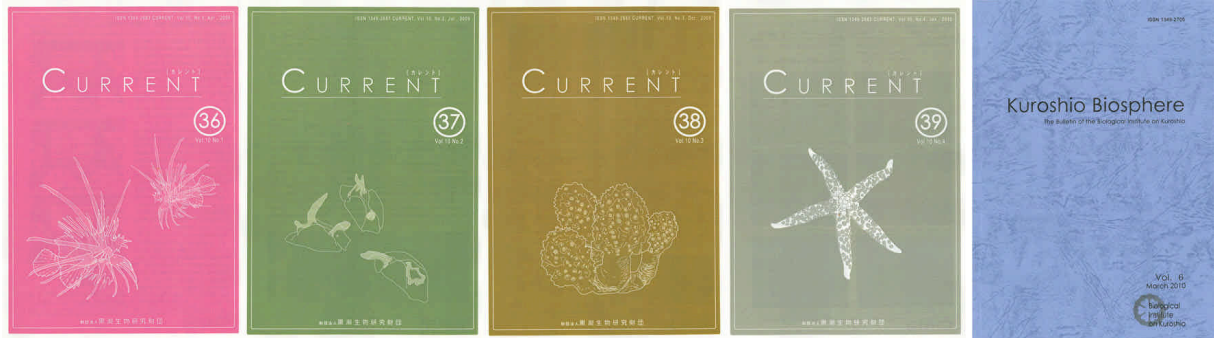


黒潮生物研究財団 平成21年度業績
(ゴシック体は財団職員)



(1) 著作

○黒潮生物研究財団紀要「Kuroshio Biosphere」Vol. 6, March 2010

- ・ MIYAZAKI, Katsutoshi, Sh. KESHAVMURTHY & K. FUKAMI. Survival and growth of transplanted coral fragments in a high-latitude coral community (32° N) in Kochi, Japan. pp. 1-9, 1 pl.
- ・ KUBOTA, Shin. Various distribution patterns of green fluorescence in small hydromedusae. pp. 11-14, 3 pls.
- ・ 林 徹・岩瀬文人. 四国における人工繁殖によるクシハダミドリイシの成長と成熟について. pp. 15-26, 2 pls. (HAYASHI, Tohru & F. IWASE. Growth and maturation of the artificially bred *Acropora hyacinthus*, Japan. pp. 15-26, 2 pls.)
- ・ 山田豊隆・武田曜男・久保田信. 兵庫県神戸市須磨海岸におけるクラゲ類の出現推移 (2003-2009年). pp. 27-30, 2 pls. (YAMADA, Toyotaka, T. TAKEDA & Sh. KUBOTA. Temporal patterns of Jellyfish species occurrence at the Suma coast, Kobe City, Hyogo Prefecture, Japan (years 2003-2009). pp. 27-30, 2 pls.)
- ・ 新稲一仁・久保田信. 和歌山県白浜町の潮間帯に現れたオニヒトデ. pp. 31-35, 1 pl. (NIINA, Kazuhiro & Sh. KUBOTA. Occurrences of *Acanthaster planci* (Linnaeus) in the intertidal zone of Shirahama Town, Wakayama Prefecture, Japan. pp. 31-35, 1 pl.)

○黒潮生物研究財団機関誌「CURRENT」

Vol. 10, no. 1 [通巻 36 号] (平成 21 年 4 月 25 日発行)

表紙：ハナミノカサゴ	中地シュウ 1
高知県西部海域の藻場分布 その2 ～藻場分布の変遷～	田中幸記 2-3
サンゴの移植について ②移植の歴史 その1	岩瀬文人 4-5
徳島県牟岐大島の千年サンゴと周辺のサンゴ相について	目崎拓真 6-7
オカヤドカリ探し	S.N. 8

Vol. 10, no. 2 [通巻 37 号] (平成 21 年 7 月 25 日発行)

表紙：ムラサキウミコチョウ	中地シュウ 1
黒潮生物研究所周辺で見られるオカヤドカリ属について	中地シュウ 2-3
壱岐のサンゴ礁	岩瀬文人 4-5
愛媛県愛南町立内海中学校の取り組みについて	S.N. 6

Vol. 10, no. 3 [通巻 38 号] (平成 21 年 10 月 25 日発行)

表紙：アンチンボヤ	中地シュウ	1
大月町榎ノ浦におけるホンダワラ類の生育水深	田中幸記	2-3
2009年西泊地先海域の造礁サンゴの産卵状況	目崎拓真・宮本麻衣・林徹	4-5
造礁サンゴ保護育成基金の設立と			

記念イベントの開催について	中地シュウ	6-7
シナアブラギリの食中毒	S.N.	8

Vol. 10, no. 4 [通巻 39 号] (平成 22 年 1 月 25 日発行)

表紙：アズキイボヒトデ	中地シュウ	1
四国のサンゴ群集概観 (1)	岩瀬文人	2-3
竜串リーフチェック 3 ヶ年のまとめ	中地シュウ	4-5
宇和島市の島々を巡る	S.N.	6

○原著 (査読) 論文

- ・岩瀬文人・中野 晋・安藝浩資・岡田直也・清水里香. 2009. エダミドリイシの有性生殖による増殖法に関する現地試験. 土木学会論文集 B2(海岸工学), B2-65(1): 1216-1220.
- ・渡辺美穂・岩瀬文人・横地洋之. 2009. 四国南西海域の高緯度サンゴ群集における造礁サンゴ幼生加入の季節変化. 日本サンゴ礁学会誌, 11: 73-81.
- ・山崎敦子・渡辺 剛・岨 康輝・中地シュウ・山野浩哉・岩瀬文人. 2009. 高知県竜串湾に生息する造礁性サンゴ骨格を用いた温帯域の古環境復元. 日本サンゴ礁学会誌, 11: 91-107.
- ・YAMASHITA, T., Y. NAKAO, S. MATSUNAGA, T. OIKAWA, Y. IMAHARA & N. FUSE TANI. 2009. A new antiangiogenic C24 oxylipin from the soft coral *Sinularia numerosa*. Bioorg. Med. Chem. 17(2009): 2181-2184.

○原著 (その他)

- ・今原幸光. 2009. 八放サンゴ分類学の歴史と現状. In わが国における刺胞動物研究, 月刊海洋, 41(6): 313-324.
- ・IMAHARA, Yukimitsu. 2009. Catalogue of alcyonacean specimens preserved in the Department of Zoology, the University Museum, the University of Tokyo. The University Museum, the University of Tokyo Material Reports, (81): 151-182.
- ・IMAHARA, Yukimitsu. 2009. Catalogue of pennatulacean specimens preserved in the Department of Zoology, the University Museum, the University of Tokyo. The University Museum, the University of Tokyo Material Reports, (81): 183-203.
- ・大石雅之・山田格・和田志郎・今原幸光. 2009. カツオクジラ 2 標本: 和歌山県および大分県産ナガスクジラ科鯨類標本の再検討. 日本セトロジー研究, (19): 1-8.

○その他の著作

- ・今原幸光. 2009. 八放サンゴ類の分類学と標本管理. In 研究する水族館—水槽展示だけではない知的な世界. 東海大学出版会, 東京. 239pp. (分担執筆).
- ・今原幸光. 2009. 第 1 編わかやまの風土, 第 2 章わかやまの生物. pp. 30-45. In: 和歌山県教育委員会 (編), ふるさと教育副読本 わかやま発見. 和歌山県教育委員会, 258pp. (編著).
- ・今原幸光. 2009. 自然博物館の開館, 自然博物館の諸活動. pp. 700-705. In: 和歌山県教育

史編纂委員会（編），和歌山県教育史第2巻通史編Ⅱ，和歌山県教育委員会，956pp.（分担執筆）。

- ・岩瀬文人. 2009. リーフチェック in 穴喰 開催. (part) BSAC TIMES, 16 : 10.
- ・岩瀬文人. 2009. 四国のはしっこから!?. BSAC TIMES, 17 : 9.
- ・岩瀬文人. 2010. 四国のはしっこから!?. BSAC TIMES, 18 : 9.

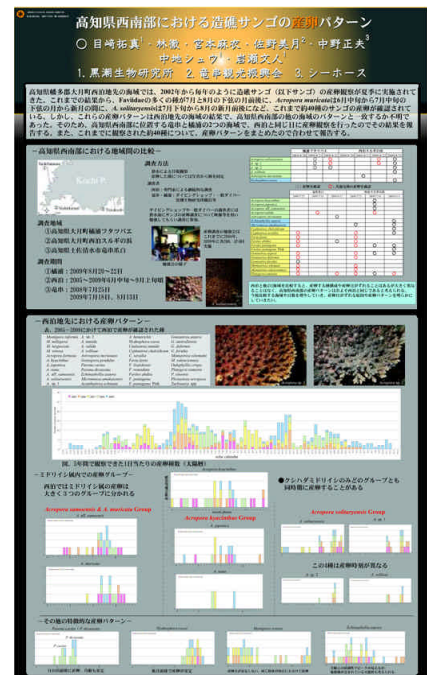
《新聞連載》海からの伝言『大月発 くろしお便り』（高知新聞 毎月1回金曜夕刊8面）

- ・2009.04.10 春の恵み「いただきます」（岩瀬文人）
- ・2009.05.08 海藻の楽園、甲浦（田中幸記）
- ・2009.06.12 海辺に生きる言い伝え（中地シュウ）
- ・2009.07.10 世界一のサンゴに圧倒（目崎拓真）
- ・2009.08.14 軟らかいサンゴ（岩瀬文人）
- ・2009.09.11 こんばんは、眠る魚たち（宮本麻衣）
- ・2009.10.09 海藻押し葉、ゲットだぜ！（田中幸記）
- ・2009.11.13 水草を訪ねて（中地シュウ）
- ・2009.12.11 夜明けに産卵するサンゴ（目崎拓真）
- ・2010.01.08 ウニは悪いやつ？（岩瀬文人）
- ・2010.02.12 深い海にヒロメの森（田中幸記）
- ・2010.03.12 竜串海中公園に行こう！（中地シュウ）

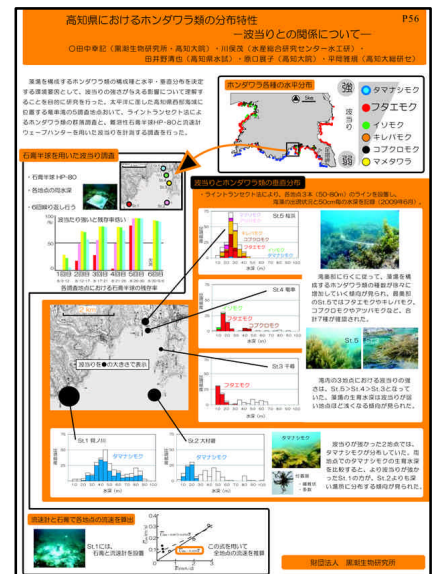
(2) 講演等

○学会等

- ・岡田直也・中野 晋・岩瀬文人・安芸浩資. 2009.05.07. 竹ヶ島海域におけるエダミドリイシの有性生殖について. 平成 21 年度土木学会 四国支部 第 15 回技術研究発表会.（愛媛大学）：口演発表
- ・藤倉克則・今原幸光・他 45 名. 2009.06.13. 海洋生物のセンサス Census of Marine Life の活動と日本の海洋生物の多様性. 日本動物分類学会第 45 回大会（名古屋港水族館）：口演発表
- ・田中幸記・目崎拓真・中地シュウ・中野松夫・中野正夫. 2009.06.27-28. 高知県大月町におけるヒロメ *Undaria undarioides* を用いた藻場造成実験. 第 8 回日本応用藻類学会春季シンポジウム（東京海洋大学）：口演発表
- ・今原幸光. 2009.08.18. 三陸沖から報告された八放サンゴ類について. Jfish（クラゲ研究会）平成 21 年度報告会（北里大学三陸キャンパス）：口演発表
- ・岩瀬文人. 2009.09.12. 卵から育てたサンゴが卵を産んだ！～飼育によるサンゴ生活環ひとまわり達成～. NCB（日本刺胞動物等談話会）第 5 回大会 公開講



- 演会 腔腸動物おもしろ講演会～驚きの腔腸動物の実話～。（山形県鶴岡市）：口演発表
- ・今原幸光. 2009.09.13. 日本海から記録された八放サンゴ類について. NCB（日本刺胞動物等談話会）第5回大会（鶴岡市立加茂水族館）：口演発表
 - ・安芸浩資・中野 晋・岩瀬文人・岡田直也. 2009.09. PHSIモデルによるサンゴの生息環境と再生計画の評価. 地盤工学会四国支部 第5回地盤と環境に関するシンポジウム.（徳島大学）：口演発表
 - ・長谷川亮太・久保沙紀子・沼津雅憲・岩瀬文人・横地洋之. 2009.11.27-29. 四国西南海域における造礁サンゴの分布と幼生加入について 2004-2009. 日本サンゴ礁学会第12回大会（沖縄県本部町）：ポスター発表
 - ・松島夏苗・服田昌之・清本正人・鈴木 豪・林原 毅・目崎拓真. 2009.11.28. ミドリイシサンゴ幼生の変態シグナル経路の地域性. 日本サンゴ礁学会第12回大会（沖縄県本部町）：口演発表
 - ・目崎拓真・林徹・宮本麻衣・佐野美月・中野正夫・中地シュウ・岩瀬文人. 2009.11.27-29. 高知県西南部における造礁サンゴの産卵パターン. 日本サンゴ礁学会第12回大会（沖縄県本部町）：ポスター発表
 - ・山崎敦子・渡邊剛・岨康輝・中地シュウ・山野博哉・岩瀬文人. 2009.11.28. 高知県竜串湾に生息する造礁性サンゴ骨格を用いた温帯域の古環境復元. 日本サンゴ礁学会第12回大会（沖縄県本部町）：口演発表
 - ・岩瀬文人・目崎拓真. 2009.12.13. 四国の造礁サンゴ相について. 土佐生物学会（高知大学）：口演発表
 - ・目崎拓真・林徹・宮本麻衣・岩瀬文人・中地シュウ・野澤洋耕. 2009.12.13. 高知県大月町西泊地先における造礁サンゴの産卵パターン. 土佐生物学会2009年度例会（高知大学）：口演発表
 - ・田中幸記・川俣茂・田井野清也・原口展子・平岡雅規. 2010.03.20-21. 高知県におけるホンダワラ類の分布様式一波当りの強さとの関係について- 第34回日本藻類学会（筑波大学）：ポスター発表
 - ・今原幸光. 2010.03.25. 天皇海山で採集されたヤギ類. 京都大学瀬戸臨海実験所腔腸動物談話会（京都大学瀬戸臨海実験所）：口演発表



○依頼講演

- ・田中幸記. 2009.05.17. 室戸の海藻と高知県の変わりゆく藻場. 漁師のNPO学習会（室戸市）
- ・今原幸光. 2009.06.03. 紀伊半島周辺海域での大型鯨類の記録. 京都大学瀬戸臨海実験所鯨類に関する特別セミナー（和歌山県白浜町）
- ・田中幸記. 2009.06.22. 宿毛湾の藻場の現状と変遷. 海の森づくり研究会（宿毛市）
- ・岩瀬文人. 2009.10.18. 土佐の海を彩るサンゴたち. 造礁サンゴ保護育成基金設立記念講演（土佐清水市）
- ・今原幸光. 2009.10.31. 紀伊半島-四国沿岸及び瀬戸内海における大型鯨類の出現記録. 京都大学瀬戸臨海実験所特別セミナー（和歌山県白浜町）.

- ・目崎拓真. 2009.11.27. 高知県西泊地先におけるサンゴの産卵パターン. 日本サンゴ礁学会第12回大会 自由集会4: 日本産イシサンゴ類の有性生殖について語ろう (琉球大学瀬底研究施設)
- ・中地シュウ. 2009.12.20. 足摺宇和海国立公園海域の特徴とサンゴの保全に向けた取り組み. 平成21年度自然公園指導員研修会 (宿毛市)

(3) 調査報告書等

- ・平成21年度発電所生態系予測手法検討調査「高知周辺海域情報収集調査」報告書, 2009.11. (株)東京久栄 (財団法人海洋生物環境研究所)
- ・平成21年度モニタリングサイト1000事業における四国南西部沿岸海域のサンゴ礁モニタリング業務報告書, 2010.02. 黒潮生物研究財団 (自然環境研究センター・環境省)
- ・平成21年度竜串地区自然再生事業海域調査業務報告書, 2010.03. 黒潮生物研究財団 (中国四国地区環境事務所)
- ・平成21年 竹ヶ島海中公園海陽 自然再生事前調査 室戸阿南海岸国立公園報告書 海部郡海陽町竹ヶ島～穴喰 成果報告書, 2010.03. 黒潮生物研究財団 (ニタコンサルタント・徳島県)
- ・平成21年度管理方針検討調査 (足摺宇和海国立公園サンゴ保全体制検討調査) 委託業務報告書, 2010.03. 黒潮生物研究財団 (中国四国地方環境事務所)
- ・平成21年度グリーンワーカー事業 (足摺地域オニヒトデ等駆除事業) 報告書, 2010.03. 黒潮生物研究財団 (中国四国地区環境事務所)
- ・平成21年度足摺宇和海国立公園海域景観資質 (サンゴ) 調査報告書, 2010.03. 黒潮生物研究財団 (環境省自然環境局国立公園課)
- ・平成21年度藻場再生実証事業委託業務報告書, 2010.03. 財団法人黒潮生物研究財団 (大月町)
- ・環境生態系保全活動モニタリング調査及び進行管理委託業務報告書, 2010.03. 財団法人黒潮生物研究財団 (宿毛湾環境保全連絡協議会)
別冊報告書1. 平成21年度環境生態系保全活動現状把握調査報告書
別冊報告書2. 平成21年度宿毛湾環境生態系保全連絡協議会保全活動計画書

(4) 研究所利用者の業績

○助成研究

- ・UYENO, Daisuke & K. NAGASAWA. 2010. Three new species of *Hatschekia* Poche, 1902 (Copepoda: Siphonostomatoida: Hatschekiidae) parasitic on boxfishes (Pisces: Tetraodontiformes: Aracanidae and Ostraciidae) in Japanese waters. *Systematic Parasitology*, 75: 147–158.
- ・UYENO, Daisuke & K. NAGASAWA. (投稿中) Four new species of *Peniculisa* Wilson, 1917 (Copepoda: Siphonostomatoida: Pennellidae) parasitic on coastal marine fishes in Japanese waters. *Journal of Parasitology*
- ・山崎敦子・渡辺 剛・岨 康輝・中地シュウ・山野浩哉・岩瀬文人. 2009. 高知県竜串湾に生息する造礁性サンゴ骨格を用いた温帯域の古環境復元. *日本サンゴ礁学会誌*, 11: 91-107. (再掲)

○研究所利用修士論文

- ・速水悠. 2010.02. スギノキミドリイシ(*Acropora muricata*)が分泌する粘液ムチンの化学的研究とサンゴ礁魚類への誘因効果. 高知大学大学院総合人間自然科学研究科農学専攻(黒潮圏総合科学準専攻).

○研究所利用卒業論文

- ・久保沙紀子・沼津雅憲. 2010. 四国西南海域における造礁サンゴの分布と幼生加入 2009 年. 東海大学海洋学部.
- ・原田遼. 2010. 海洋生物におけるカロテノイド含有とその生物学的意義に関する基礎研究. 近畿大学農学部.

○学会等

- ・UYENO, Daisuke. & K. NAGASAWA. 2009.09.20-24. Parasitic copepods of the genus *Hatschekia* (Siphonostomatoida: Hatschekiidae) found on tetraodontiform fishes from Japan. The Crustacean Society Summer Meeting in Tokyo.
- ・Lien Yi-Ting・山下洋・深見裕伸. 2009.11.27-29. 温帯域の造礁サンゴに内部共生する褐虫藻タイプ C の ITS を用いた遺伝的解析. 日本サンゴ礁学会第 12 回大会(沖縄県本部町)
- ・山崎敦子・渡邊剛・岨康輝・中地シュウ・山野博哉・岩瀬文人. 2009.11.28. 高知県竜串湾に生息する造礁性サンゴ骨格を用いた温帯域の古環境復元. 日本サンゴ礁学会第 12 回大会(沖縄県本部町)(再掲)
- ・玉井玲子・酒井一彦. 2009.11.27-29. 小サンゴ群体と小型海藻の基盤をめぐる競争. 日本サンゴ礁学会第 12 回大会(沖縄県本部町)
- ・玉井玲子・酒井一彦. 2010.03.15-20. サンゴ群集の回復を小型海藻が妨げる可能性の検証. 日本生態学会第 57 回大会(東京大学)